

平成25年度（第54期） 総会資料

平成25年8月31日（土）
於： 北見工業大学（北見市）

第54期支部総会開催にあたって

支部長 金井 理（北海道大学）

会員の皆様には、ご多忙の中、54期支部総会にご出席いただき深く御礼申し上げます。また学会理事の大竹先生には、遠路ご参加頂き感謝申し上げます。

さて支部活動の主役は、教育機関会員・学生会員・企業会員の三者です。これまで学術講演会は、教育機関と学生との研究交流の場として主に機能してきましたが、本年度は、さらに企業と学生、企業と教育機関、また学生会員相互が交流できる場も積極的に設け、学生も企業会員の方々にも精密工学会入会の恩恵が感じられる支部活動を進めたいと考えております。このため本年度は、全発表のポスタセッション化、賛助企業紹介のためのランチョンセミナー、また学生会員のための懇親会といった新企画を計画いたしました。北見工大の実行委員会の皆様方には、このような多数の新イベントにも関わらず、完璧な準備と実施を頂き感謝しております。また講演会以外の活動としては、支部講演会論文集のDB化や、次期秋季大会開催候補地の事前調査活動などにも着手いたしました。

これらの企画・活動については、今後も皆様のご意見を取り入れ、より良いものに改善してゆく必要があります。本総会は、当支部活動の中心メンバである皆様にご参集いただける、年に一度の貴重な場となりますので、どうかご意見・ご助言・ご提案を積極的に頂けると幸いです。

資料内容

1. 支部会員数
2. 支部役職
支部幹事会／支部商議員会／支部選出委員
3. 支部会計報告
第53期収支決算概要／第54期収支予算概要
4. 支部活動報告
第53期・54期会議、講演会、表彰事業、その他
5. 参考資料
全国大会記録／支部講演会記録／歴代支部長
6. その他
支部講演論文集のアーカイブ化予備調査
2018年秋季全国大会開催地の調査活動

第 53 期後期（2012/9-2013/1）／第 54 期前期（2013/2-2013/8）活動報告

1. 支部会員数

会員数：160名（正会員：110名，学生会員：50名）* フェロー，名誉会員を含む

	2010/3	2011/3	2012/1	2013/4	2013/7
総会員数	138	147	165	145	160
正会員*	104	106	107	107	110
学生会員(web)	34 (30)	41(33)	58(48)	38(31)	50(41)

支部所属名誉会員（8名） 五十嵐 悟，池田 正幸，嘉数 侑昇，菊地 千之，北川 武揚，

齋藤 勝政，勇田 敏夫，棟 徹夫

支部所属フェロー（3名） 嘉数 侑昇，岸浪 建史，田牧 純一

補足説明：2013/7 の総会員数は昨年同時期とほぼ同一。正会員は微増。学生会員は微減。

2. 支部役職

2.1 支部幹事会

	第 53 期（2012/2-2013/1）	第 54 期（2013/2-2014/1）
支部長	小野里雅彦（北大）	金井 理（北大） （学生奨励賞審査委員長）
副支部長	金井 理（北大）	吉村 斎（苫小牧高専） （技術賞・支部活性化貢献賞 審査委員長）
庶務幹事	渡辺美知子（北見工大）	伊達 宏昭（北大）
会計幹事	菊地 慶仁（北海学園大）	三谷 篤史（札幌市立大）
幹事	寺本 孝司（室蘭工大）	久保 明彦（北見工大） （支部講演会担当）
幹事	戸村 豊明（旭川高専）	戸村 豊明（旭川高専） （支部 Web 管理，CADCG コンテスト審査委員長）
幹事	山田 誠（函館高専）	山田 誠（函館高専） （BP 賞審査委員長）
監事	金子 俊一（北大）	小野里 雅彦（北大）
監事	荒井 誠（釧路高専）	金子 俊一（北大）

補足説明：第 54 期より，支部長・副支部長，庶務・会計以外の各幹事の業務担当を明確化した。

2.2 商議員会

氏名	所属	第53期	第54期
青柳 学	室蘭工業大学	○	○
荒井 誠	釧路工業高等専門学校	○	
石田 崇	株式会社テクノフェイス	○	
奥野 拓	公立ほこだて未来大学	○	○
小野里 雅彦	北海道大学	○	○
金井 理	北海道大学	○	○
金子 俊一	北海道大学	○	○
川上 敬	北海道工業大学	○	○
菊地 慶仁	北海学園大学	○	
久保 明彦	北見工業大学		○
後藤 孝行	旭川工業高等専門学校		○
高佐 成樹	株式会社日本製鋼所室蘭製作所	○	○
多田 達実	北海道立総合研究機構	○	○
伊達 宏昭	北海道大学		○
寺本 孝司	室蘭工業大学	○	
戸村 豊明	旭川工業高等専門学校	○	○
福田 薫	株式会社産鋼スチール	○	○
本田 匠	釧路工業高等専門学校	○	○
三谷 篤史	札幌市立大学	○	○
見藤 歩	苫小牧工業高等専門学校		○
安田 星季	北海道立総合研究機構		○
山田 誠	函館工業高等専門学校	○	○
山本 雅人	北海道大学	○	
吉村 斎	苫小牧工業高等専門学校	○	○
渡辺美知子	北見工業大学	○	○
		20名	20名

2.3 支部選出委員

理事（1名）：	金子 俊一（北海道大学，留任）	2012, 2013 年度
代議員（3名）：	菊地 慶仁（北海学園大学）	2013 年度
	多田 達実（北海道立総合研究機構）	2013 年度
	高佐 成樹（日本製鋼所室蘭製作所）	2013 年度
広報委員	山本 雅人（北海道大学）	2013.4-2015.3（任期2年）
校閲委員会委員	伊達 宏昭（北海道大学）	2012.4-2015.3（任期3年）
補足説明：	2013 年度中に 2014 年度の新理事および代議員の改選実施予定	

3. 支部会計報告

3.1 2012 年度（第 53 期 2012/2-2013/1）収支決算（概要）

収 入		支 出	
支部活動費（本部より）	605,000	学術講演会事業支出	685,937
学術講演会事業収入	605,500	学生派遣事業費	250,000
雑収入	454	旅費・交通費	211,180
		共催・協賛等事業費	68,081
		その他支出	112,195
		本部一般会計に預け入れ	300,000
当期収入合計(A)	1,210,954	当期支出合計(C)	1,627,393
前期繰越収支差額	2,102,028	当期収支差額(A-C)	▲416,439
収入合計	3,312,982	次期繰越収支差額	1,685,589

その他，本部会計預け入れ金の総額が 2013/1/31 現在で 1,700,000 円

3.2 2013 年度（第 54 期 2013/2-2014/1）収支予算（概要）

収 入		支 出	
支部活動費（本部より）	615,000	学術講演会事業支出	1,035,000
学術講演会事業収入	650,000	学生派遣事業費	200,000
補助金等収入	0	旅費・交通費	200,000
雑収入	2,000	共催・協賛等事業費	60,000
		その他支出	209,413
		本部一般会計に預け入れ	300,000
当期収入合計(A)	1,267,000	当期支出合計(C)	2,004,413
前期繰越収支差額	1,685,589	当期収支差額(A-C)	▲737,413
収入合計	2,952,589	次期繰越収支差額	948,176

補足説明：学会提出の予算書においては「学術講演会事業支出」という区分で明示的に予算計上されておらず，ここでは学術講演会での支出と想定されるものを合計して計上している．また会計上，剰余金（繰越金）の圧縮が求められているため，単年度では約 73 万円の赤字の収支計画が策定されている．

4. 支部活動報告

4.1 第53期(2012/2-2013/1)支部活動報告

会議

- 年次総会：2012年9月1日(室蘭工業大学) 事業報告・事業計画
- 商議員会(3回)
 1. 2012年2月22日(北海道大学) 役員選出, 事業計画の承認
 2. 2012年9月1日(室蘭工業大学) 支部賞の制定, 各賞の審議・決定
 3. 2012年11月22日(北海道大学) 第54期事業計画等
- 幹事会(4回)
 1. 2012年2月22日(北海道大学) 新幹事会顔合わせ
 2. 2012年5月21日(北海道大学) 支部講演会場準備, 支部賞創設, 副賞検討
 3. 2012年7月30日(北海道大学) 支部講演会プログラム編成, 準備状況確認
 4. 2012年10月29日(北海道大学) 次年度事業計画, 商議員会選挙の準備

講演会・シンポジウム等

- 2012年度支部学術講演会：2012年9月1日(室蘭工業大学)
講演件数：52件, CGコンテスト：8件
特別講演会：講師：棚次 亘弘 氏 (室蘭工業大学航空宇宙機システム研究センター長)
題目：『室蘭工業大学・航空宇宙機システム研究センターの教育研究活動について』
懇親会：ホテルサンルート室蘭(室蘭市)
- 共催・協賛事業(13件)
 1. 講演会協賛：岩田 健司／大規模画像処理時代に立ち向かう画像解析ミドルウェア, 橋本 学／画素数削減によるプレートマッチングの超高速化技術とその展開, 北海道大学, 5月25日 25名
 2. 講演会協賛：金子 真／将来のロボットが進むべき方向, 進んではいけない方向, 北見工大, 6月30日 73名
 3. 講演会協賛：田中文夫, 小野寺鶴将／病虫害予察のポイント, 北海道大学, 7月25日 20名
 4. 講演会協賛：柴田 隆行／MEMS技術を究めナノとバイオへの架け橋を築く～異分野融合ものづくり技術への挑戦～, 北海道大学, 7月27日 28名
 5. 講演会協賛：藤吉 弘宣／物体検出の高精度化と効率化, 北海道大学, 8月3日 45名
 6. 事業協賛：第12回ロボットトライアスロン札幌大会, 札幌コンベンションセンター, 9月12日
 7. 講演会協賛：青木 義満／実世界認識のための画像センシング技術, 北海道大学, 9月27日 20名
 8. 講演会協賛：本村 陽一／ベイジアンネットワーク技術—最近の応用事例から, 北海道大学, 10月17日 40名
 9. 講演会協賛：飯塚正美／機械事故鑑定・研究の最新動向～科学警察研究所法科学第二部の紹介～, 北海道大学, 11月7日 30名
 10. 事業後援：2012ものづくり技術セミナー, センチュリーロイヤルホテル, 11月14日 48名
 11. 講演会協賛：Hyungjun Park／Tangible augmented prototyping of digital appliances using simple objects, 北海道大学, 12月10日 27名

12. 講演会協賛：前田俊二／マシンビジョン・パタン認識による半導体欠陥検査・設備異常予兆検知，北海道大学 12月14日 20名
13. 講演会協賛：小菅一弘／システムインテグレーションとしてのロボット学 (Robotics)，北見工業大学，2013年1月21日 48名

表彰事業

• 優秀プレゼンテーション賞 (5名)

1. 東翔也 (北海道大学) 『X線CT計測データからのボイドを含む製品の四面体メッシュ生成～局所メッシュ細分化を用いたボイド形状の再現精度向上～』
2. 奥寺暁大 (室蘭工業大学) 『近距離場音波浮揚物体のダンピング特性改善方法の検討』
3. 鈴木貴也 (苫小牧工業高等専門学校) 『摩擦攪拌接合されたアルミニウム合金／熱間圧延鋼板継手の高温時効』
4. 瀧瀬愛梨 (函館工業高等専門学校) 『高効率溶射システムの構築に関する研究 —CADモデルに基づいた溶射姿勢の最適化—』
5. 三神惇平 (北海道大学) 『動的再構成可能な生産システムのレイアウト設計に関する研究』

• CAD/CGモデリングコンテスト表彰 (4件)

最優秀賞：

1. 大谷悠人 (苫小牧工業高等専門学校) 「チェア」 (リアリティ部門)

優秀賞：

2. 河内和観 (函館工業高等専門学校) 「Scissors Jack」 (リアリティ部門)
3. 木島拓也 (旭川工業高等専門学校) 「V型6気筒DOHCエンジン」 (メカニカル部門)
4. 村椿信 (旭川工業高等専門学校) 「6速マニュアルトランスミッション」 (メカニカル部門)

• 技術賞 (4件)

1. 田中大之，相山英明，万城目聡 (北海道立総合研究機構)，金井理，伊達宏昭 (北海道大学)，溝口知広 (日本大学) 『マイクロフォーカスX線CTシステムを用いた立体形状評価』
2. 中西洋介 (北海道立総合研究機構)，星野洋平，小林幸徳 (北海道大学) 『CAE機構解析事例紹介～動吸振器による振動低減・農薬散布機姿勢制御～』
3. 青野文朗，高佐成樹，佐藤将一，宿村孝博，今村祐輔，大宮拓也 (㈱日本製鋼所室蘭製作所) 『ニッケル基合金の効率的加工に関する研究』
4. 青野文朗，高佐成樹，佐藤将一，川池宏幸，宿村孝博，今村祐輔，大宮拓也 (㈱日本製鋼所室蘭製作所) 『超大型プレス部材の効率的な加工方法の確立』

• その他

- 春季大会への学生派遣支援事業 (5名，2013年3月)

2012年度支部学術講演会において優秀なプレゼンテーションを行った学生のうち，旅費支援を希望した以下の5名に春季大会参加の旅費支援を行った。

1. 東翔也 (北海道大学)
2. 小川純 (北海道大学)
3. 鈴木貴也 (苫小牧工業高等専門学校)
4. 瀧瀬愛梨 (函館工業高等専門学校)
5. 宮崎峻 (室蘭工業大学)

4.2 第54期（2013/2-2014/1）支部活動計画ならびに中間報告

会議

- 年次総会（第54期）：2013年8月31日（北見工業大学） 事業報告・事業計画，他
- 商議員会（3回）
 1. 2013年2月22日（北海道大学） 役員選出，事業計画の承認
 2. 2013年8月31日（北見工業大学） 各賞申合せ，各賞の審議・決定
 3. 2013年11月（予定） 第55期事業計画等
- 幹事会（3回）
 1. 2013年5月21日（北見工業大学） 支部講演会準備
 2. 2013年8月1日（Web会議） 支部講演会準備状況確認
 3. 2013年10月（予定） 次年度事業計画，商議員会選挙の準備

講演会・シンポジウム等

- 2013年度支部学術講演会：2013年8月31日（北見工業大学）

講演件数：63件（昨年より△11），CGコンテスト：9件（△1）（2000年以降で最高件数）
ランチョンセミナー（企業紹介セミナー）：4社
（株）日本製鋼所室蘭製作所，アジア航測（株），（株）テクノフェイス，（株）光合金製作所

特別講演会：
講師：大竹 尚登 氏（東京工業大学教授，精密工学会理事）
題目：『ダイヤモンド状炭素膜の基礎と応用および精密工学会の国際連携活動』

懇親会：オホーツクビール（北見市）
施設見学会：JAきたみらい 青果物センター（2013年8月30日）
- 共催・協賛事業（開催済み6件，予定1件）
 1. 事業協賛：第12回複雑系マイクロシンポジウム，北海道大学クラーク会館3階「大集会室」，2013/3/2 48名
 2. 事業協賛：第45回計測自動制御学会北海道支部学術講演会，北海道大学，2013/3/6-7 60名
 3. 講演会共催：七夕 高也／情報技術を用いた植物科学研究のためのハイスループット形質評価技術，北海道大学，2013/6/28 15名
 4. 講演会協賛：鈴木 裕／金型加工技術の現状，北海道大学，2013/7/26 30名
 5. 事業協賛：大規模環境の3次元計測と認識・モデル化技術集中講演会兼 精密工学会北海道支部技術講演会，北海道大学，2013/7/29-30 76名
 6. 事業協賛：北海道ロボット教育推進協議会，ロボット競技会（WRO 札幌大会），北海道大学，2013/8/17 100名
 7. 事業協賛（予定）：第13回ロボットトライアスロン札幌大会，北海道工業大学，2013/9/29

表彰事業

• 学生奨励賞（15名）

1. 平原 壮紀，公立ほこだて未来大学 大学院システム情報科学研究科システム情報科学専攻
2. 鈴木 貴也，苫小牧工業高等専門学校専攻科電子・生産システム工学専攻
3. 原田 貴也，釧路工業高等専門学校電気工学科
4. 中易 竜一，室蘭工業大学大学院工学研究科情報電子工学系専攻
5. 丹羽 孔明，北海道工業大学大学院工学研究科電気工学専攻
6. 石山 吉紀，室蘭工業大学工学部機械航空創造系学科
7. 友田 一平，北見工業大学大学院工学研究科 情報システム工学専攻
8. 近藤 光，札幌市立大学デザイン学部デザイン学科 製品デザインコース
9. 成瀬 幸史，北見工業大学工学部機械工学科
10. 谷島 諒丞，旭川工業高等専門学校専攻科生産システム工学専攻
11. 健名 裕希，北海学園大学工学部電子情報工学科
12. 矢作 修一，北海道大学大学院工学院人間機械システムデザイン専攻
13. 星 昂佑，函館工業高等専門学校機械工学科
14. 高松 宏樹，北海道大学工学部情報エレクトロニクス学科情報工学コース
15. 伊藤 泰久，北海道大学大学院情報科学研究科システム情報科学専攻

5. 参考資料

5.1 全国大会開催記録

年度	開催地	月 日	実行委員長	講演件数
1964	北海道大学	10月1日(木)-2日(金)	星 光一	80
1970	ホテル万世閣(洞爺湖)	10月6日(火)-8日(木)	星 光一	225
1980	北海道大学	9月28日(日)-30日(火)	佐藤 敏一	316
1990	北海道大学	9月27日(木)-30日(日)	斎藤 勝政	637
1998	北海道大学	9月22日(火)-29日(金)	五十嵐 悟	606
2007	旭川市市民ホール他	9月12日(水)-14日(金)	古川 正志	499
2018	(未定)			

5.2 支部講演会開催記録（2000～）

年度	開催校	月日	実行委員長	講演件数
2000	旭川高専	9月9日(土)	古川 正志	57
2001	釧路高専	9月1日(土)	荒井 誠	51
2002	札幌学院大学	8月31日(土)	皆川 雅章	41
2003	室蘭工業大学	9月6日(土)	横内 弘宇	50
2004	函館高専	9月4日(土)	浜 克己	60
2005	北見工業大学	9月3日(土)	二俣 正美	53
2006	北海学園大学	9月2日(土)	深谷 健一	46
2007	苫小牧高専	8月25日(土)	中津 正志	42
2008	旭川高専	9月6日(土)	今野 廣	55
2009	釧路高専	9月5日(土)・6日(日)	荒井 誠	44
2010	北海道工業大学	9月4日(土)	木下 正博	43
2011	公立はこだて未来大学	9月3日(土)	奥野 拓	46
2012	室蘭工業大学	9月1日(土)	寺本 孝司	52
2013	北見工業大学	8月31日(土)	田牧 純一	63
2014	札幌市立大学	8月30日(土)	城間 祥之	

5.3 歴代支部長

期	西暦	支部長名	期	西暦	支部長名
1-10	1960-1969	星 光一	11-16	1970-1975	佐藤 敏一
17-18	1976-1977	沖野 教郎	19-20	1978-1979	斎藤 勝政
21	1980	三浦 良一	22-23	1981-1982	菊地 千之
24-25	1983-1984	棟 徹夫	26-27	1985-1986	佐藤 寿夫
28-29	1987-1988	斎藤 勝政	30-31	1989-1990	大津 保雄
32-33	1991-1992	北川 武揚	34	1993	勇田 敏夫
35	1994	池田 正幸	36	1995	西田 公至
37	1996	嘉数 侑昇	38	1997	岸浪 建史
39	1998	野村 英雄	40	1999	五十嵐 悟
41	2000	二俣 正美	42	2001	井上 一郎
43	2002	岡田 亜紀良	44	2003	田頭 孝介
45	2004	三田村 好矩	46	2005	田牧 純一
47	2006	深谷 健一	48	2007	古川 正志
49	2008	金子 俊一	50-51	2009-2010	荒井 誠
52-53	2011-2012	小野里 雅彦	54	2013	金井 理

6. その他

資料 6.1： 支部講演論文集のアーカイブ化予備調査

資料 6.2： 2018年秋季全国大会開催地の調査活動

支部講演論文集のアーカイブ化予備調査

北海道大学 田中文基

1. はじめに

支部講演論文集の電子アーカイブ化を目的として、論文所在調査及びアーカイブに関する検討を行ってまいりましたので、報告します。

2. これまでの論文集の所在調査結果

年度ごとの支部講演論文集の所在調査結果を表 1 に示します。1960 年以外は、本部、あるいは田中が保有しています。

3. アーカイブシステムの実装候補案（可能であれば）

アーカイブ化に必要な作業は、以下の二つです。

・講演論文集の PDF 化作業

破壊しての Scanning（例えば、1 枚 12 円）

破壊なしの Scanning（例えば、手置きスキャン 1 枚 25 円）

・PDF 化したデータの保存・公開作業

自前サーバ（レンタルサーバ・ストレージ）を利用したデータ保存（恒久予算が必要）

HUSCAP（北大）を利用したデータ保存（北大以外の先生の著作物でも可能か）

学会サーバを利用したデータ保存（本部との調整が必要）

J-Stage への登録によるアーカイブ（本部との調整が必要）

4. 今後、支部として公式に活動すべき事項（予算）の案

・支部講演論文集の調査継続

・PDF 化作業の開始

例. 54 回*120 ページ=6480 ページ（手置きスキャン 1 枚 25 円）162,000 円

・PDF 化したデータの保存・公開作業の調査・検討

表 1. 年度ごとの支部講演論文集の所在調査結果

回数表記	西暦	期日	開催校	本部	田中	支部	備考
	1960	昭 35.6.12	北海道大学				50 周年記念誌より
第 5 回	1961	昭 36.10.6	室蘭工業大学	○			
第 8 回	1962	昭 37.10.4	北海道大学	○			
第 9 回	1963	昭 38.10.4	函館高専	○			
全国大会	1964	昭 39.10.1	北海道大学	—	—	—	50 周年記念誌より
第 10 回	1965	昭 40.10.1	苫小牧高専	○			
第 11 回	1966	昭 41.9.30	北海道大学	○			
第 12 回	1967	昭 42.9.1	北見工業大学	○			
第 12 回	1968	昭 43.10.11	室蘭工業大学	○			→第 12 回が 2 つありました
昭和 44 年度	1969	昭 44.10.26	北海道大学	○			
全国大会	1970	昭 45.10.6	ホテル万世閣	—	—	—	50 周年記念誌より
昭和 46 年度	1971	昭 46.10.7	旭川高専	○			
昭和 47 年度	1972	昭 47.10.15	釧路高専	○			

昭和 48 年度	1973	昭 49.2.2	北海道大学	○			
昭和 49 年度	1974	昭 49.10.9	室蘭工業大学	○			
昭和 50 年度	1975	昭 50.10.18	北見工業大学	○			
昭和 51 年度	1976	昭 52.2.5	北海道大学	○			
昭和 52 年度	1977	昭 52.10.22	室蘭工業大学	○			
昭和 53 年度	1978	昭 53.9.30	旭川高専	○			
昭和 54 年度	1979	昭 54.10.6	函館高専	○			
全国大会	1980	昭 45.10.6	北海道大学	—	—	—	50 周年記念誌より
昭和 56 年度	1981	昭 56.9.26	室蘭工業大学	○			
昭和 57 年度	1982	昭 57.9.26	北見工業大学	○			
昭和 58 年度	1983	昭 58.9.18	苫小牧高専	○			
昭和 59 年度	1984	昭 59.9.16	旭川高専	○			
昭和 60 年度	1985	昭 60.9.15	釧路高専	○	○		
昭和 61 年度	1986	昭 61.9.13	北海道大学	○			
昭和 62 年度	1987	昭 62.9.13	函館高専	○			
昭和 63 年度	1988	昭 63.8.31	室蘭工業大学	○	○		
1989 年度	1989	平 1.9.3	北見工業大学	○	○		
全国大会	1990	平 2.9.27	北海道大学	—	—	—	50 周年記念誌より
1991 年度	1991	平 3.9.1	苫小牧高専	○	○		
1992 年度	1992	平 4.8.28	旭川高専		○		書き込みあり
1993 年度	1993	平 5.9.10,11	釧路高専	○	○		
1994 年度	1994	平 6.9.2,3	札幌学院大	○	○		
1995 年度	1995	平 7.8.30	教育大函館校		○		書き込みあり
1996 年度	1996	1996.8.30,31	室蘭工業大学	○	○		
1997 年度	1997	1997.8.23	北見工業大学	○	○		
1998 年度	1998	1998.8.22	北海学園大学	○	○		
1999 年度	1999	1999.8.21	苫小牧高専	○	○		
2000 年度	2000	2000.9.9	旭川高専	○	○		
2001 年度	2001	2001.9.1	釧路高専	○	○	○	複数あり
2002 年度	2002	2002.8.31	札幌学院大	○	○	○	複数あり
2003 年度	2003	2003.9.6	室蘭工業大学	○	○	○	複数あり
2004 年度	2004	2004.9.4	函館高専	○	○	○	複数あり
2005 年度	2005	2005.9.3	北見工業大学	○	○	○	複数あり
2006 年度	2006	2006.9.2	北海学園大学	○	○	○	複数あり
2007 年度	2007	2007.8.25	苫小牧高専	○	○		
2008 年度	2008	2008.9.6	旭川高専	○	○		
2009 年度	2009	2009.9.5,6	釧路高専	○	○		
2010 年度	2010	2010.9.4	北海道工業大学	○	○		
2011 年度	2011	2011.9.3	はこだて未来大	○	○		
2012 年度	2012	2012.9.1	室蘭工業大学	○	○		

2018 年度 秋季全国大会開催地の調査活動について

1. 背景

北海道支部担当の次期秋季全国大会は、本部計画によると 2018 年に予定されています。その開催候補地として、一昨年より支部商議員会懇親会などの非公式な場において「函館地区」を推す意見が商議員より多く提案されております。理由としては、

- ・ 著名な観光地であり、宿泊施設のキャパシティが十分なこと
- ・ 函館地区の高専・大学に、5 年後も学会活動に積極的に関与されていると思われる正会員が多数おられること
- ・ 同一規模の他学会の開催実績があること（2011-FIT, 23 室, 函館大学）
- ・ 東京・大阪・名古屋から直行便があり、交通の便が良いこと
- ・ 2015 年度内に、新幹線が函館まで開通予定であること
- ・ 函館国際観光コンベンション協会による支援体制が充実していること
- ・ 函館市からの補助金支援を受けられる可能性が高いこと
- ・ 学会全国大会等での道外研究者の函館開催に対する感触も良いこと

しかし、これまで同地区での全国大会開催の実績が無く、また遅くとも 2 年前(2016 年春)までには支部として開催地を確定しておく必要があることから、この秋より函館地区の開催可能性に関する事前調査を開始いたします。

2. 調査 TF の設置

下記 3 名の商議員を次期全国大会調査 TF メンバとし、支部より調査を委嘱いたします。2014 年の第 1 回支部商議員会までに、函館地区の会場確保（函館高専、函館大学など）や市からの支援可能性等についてご答申いただき、商議員会にて議論します。結論は、2014 年総会でもご報告いたします。

- ・ 小野里雅彦氏（リーダー、北大、商議員、2007 秋季全国大会（旭川）総幹事）
- ・ 山田 誠 氏（函館高専、商議員、開催候補地所属）
- ・ 奥野 拓 氏（はこだて未来大、商議員、2011FIT（函館）現地実行委員）

3. その他

調査の結果、函館地区での会場確保が困難と判断された場合は、札幌地区などの他地区開催に切り替える可能性もあることをご了承ください。